

質問第八十九号

夕張鉄道の札幌駅又は苗穂駅乗入に關する質問主意書
右の質問主意書を國会法第七十四條によつて提出する。

昭和二十四年五月十一日

小林米三郎

参議院議長 松平恒雄殿

夕張鐵道の札幌駅又は苗穂駅乗入れに關する質問主意書

夕張鐵道は夕張市並沿線各町村の急激なる發展膨脹に伴い最近旅客額に増加し將來通増の趨勢にあり、其の終着駅野幌の省線接続の混雜は將に被人的にしてこれが緩和を図り輸送の合理化を期するは刻下の急務なりと信ず特に本線を利用する町村は夕張市を始め栗山町、長沼村、幌向村及江別町の一市四町村の廣汎なる地域に跨り其の人口約二十万に達し乗客の殆んど大部分は札幌市に用務を帶ぶるを以て沿線と札幌市との關係は極めて密接なるものあり、現在の分岐点野幌駅と札幌駅とは僅か二十軒の短距離にあるを以て本線を札幌又は苗穂駅迄延長乗入れをなし交通難緩和の意志なきや政府当局のこれに対する所見を問